

令和6年6月13日(木)

小金井市立小金井第二中学校

令和7年度(2025年)入試用

第1回進路説明会資料

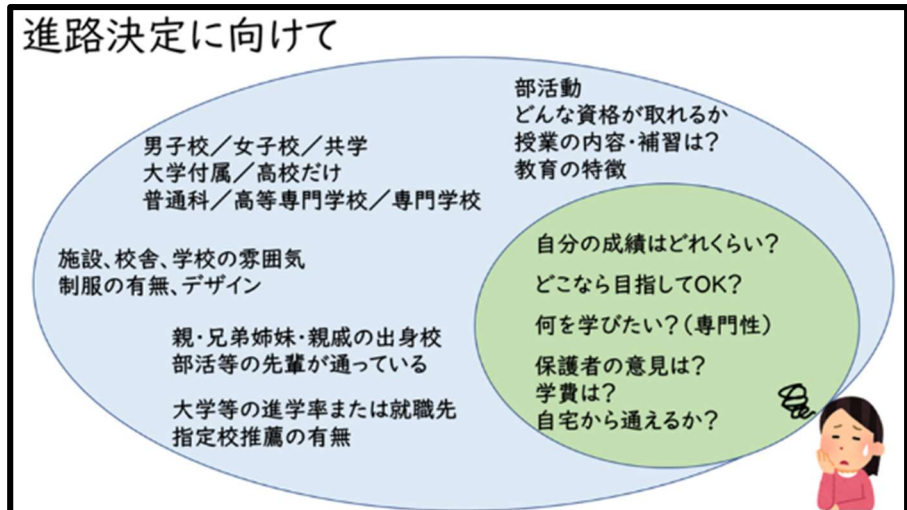


3年 組 番 氏名()

目次

- P. 1 … 1 進路選択のために
- P. 2 … 2 中学卒業後の進路
- P. 3 … 3 都立高校の種類と内容
- P. 5 … 4 都立高校の入試の仕組み
- P. 8 … 5 私立高校について
- P.10 … 6 本校の推薦基準
- P.11 … 7 進路決定までの流れ
- P.13 … 8 「授業料実質無償化」について
- P.13 … 9 主な奨学金について
- P.14 … メモ

1 進路選択のために



◆基本的な心構え

① 主体的に進路を選択し決定する

ア. 自己理解を深める

長所や改善すべきところ、関心のあること、学習面で不足していることなどを把握する。

イ. 将来をよく考える

自分の夢、将来の生き方、職業などについてしっかりと考える。さまざまな進路情報の中から適切な情報を選び生かしていく。見通しを持って、進路決定に向き合う。

ウ. 日常の努力をする

毎日の授業を真剣な態度で受け、家庭学習にも力を入れて努力していく。

② 仲間と助け合い、支え合う

ア. 自分や友達の進路を尊重する

自分も友達も真剣に進路を考えている。互いに励まし合い、尊重する。

③ 学校生活を大切にす

ア. 学習も生活も大切にす

授業能度はいうまでもなく、生活のルールをしっかり守り、真剣に日常生活を送る。

イ. 内面を成長させる

勉強だけ、点数だけではなく、係・委員会・部活動・日直・掃除当番などでの責任をしっかりと果たし、人間的にも成長を目指す。

◆ご家庭にお願いしたいこと

① 保護者と本人が十分に話し合い、共通の目標をもつようにしてください。

② 保護者として本人の能力や適性をしっかりつかみ、本人が最も良い進路選択ができるように助言をしてください。

③ 毎日の規則正しい生活が心身の健康を保つ基本です。受験生だからと特別扱いするのではなく、家族の一員としての役割や手伝いもきちんと果たせるよう指導してください。また、食事・睡眠・運動・休養の時間確保もお願いします。特に夜型にならないように注意が必要です。

④ 学年だより、進路だよりなど、学校からのプリント類には必ず目を通してください。

⑤ 進路関係の大切な提出物は、必要事項を正確に書き、提出期限を厳守してください。

※提出書類は原則として黒のボールペン(消せるボールペンや鉛筆は不可)で記入をお願いします。

2 中学卒業後の進路

中学校の「進路」というと、「高校受験」だけをイメージしがちですが、実際の進路選択は多種多様です。まず進路の選択肢を大きく分けるとすれば、「進学」と「就職」があります。進学希望であっても高等学校、高等専門学校、専修学校など様々です。就職を希望する場合は、早い時期に担任へ申し出てください。

◆上級学校の種類

(1) 高等学校

- 設置者別・・・都立(東京都が設置)・私立(学校法人が設置)・国立(国が設置)
都立高校では、それぞれの学校が特色ある教育活動を行っています。
私立高校は設立者の建学精神があり、それぞれの学校が独自の教育を行っています。
国立高校は国立大学の付属高校で、大学の教育研究機関として設けられています。
- 通学時間帯等別・・・全日制(昼間に通う)・定時制(午前、午後、夜間など)・通信制
- 学科別・・・普通科・専門学科(商業、農業、工業など)・総合学科
その他、コース制・各種重点校など、生徒のニーズに合わせて多様化しています。
- 在籍生徒別・・・共学校・男子校・女子校
- 履修方法別・・・学年制・単位制
※2024(令和6)年度より、都内在住者は高等学校の授業料について実質無償化となつていますが、授業料以外の費用はかかります。その内訳や金額は学校により異なります。詳しくは各学校の説明会等でご確認ください。

(2) 高等専門学校(一般的には「高専」と呼ばれています)

高度な専門知識や技能を身につけるための学校。5年制(商船学科は5年6ヶ月)。
卒業後は、短大卒と同等の資格が得られ、大学3年生に編入することも可能です。

(3) 専修学校(一般的には「専門学校」と呼ばれています)

専門的な技術を身につけるための学校。1年間～。理容・美容・調理・製菓・芸術・ファッション等。
高等学校ではありませんが、高等学校の卒業資格が取得できる学校もあります。学校ごとに様々な特色があるので、卒業生の進路先確認等も含めて、学校見学に行くことをおすすめします。

(4) サポート校

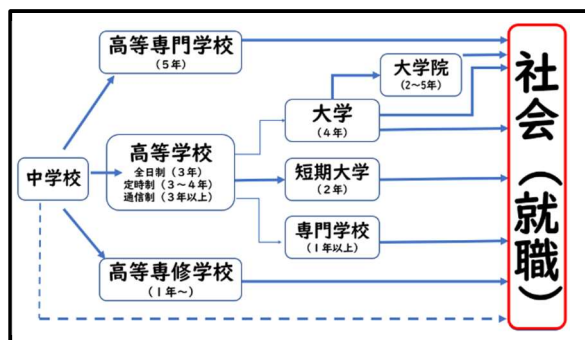
通信制の高等学校と連携し、単位の取得を支援する民間の教育機関です。「サポート校」そのものは正規の高等学校ではなく、高等学校卒業の資格は得られません。通信制高校に籍を置き、その高等学校の単位を取得することにより、卒業資格が得られます。*2校分の学費が必要になります*

(5) その他の学校

職業能力開発センター(就労希望者対象)、
企業内学校(企業が自社で働く専門的技術者養成)等

(6) 就職

新規中卒者への求人は必ずしも多いとはいえません。
縁故を頼る以外の方法としてはハローワーク(公共職業安定所)を通して求人に応募することになります。



3 都立高校の種類と内容

(1) 授業時間帯による課程の分類

- 全日制課程…朝から午後までの日中に授業があります。
- 定時制課程…夜間、もしくは定められた時間帯に授業があります。
- 通信制課程…自宅等で学習し、レポート等で指導を受けながら定められた日に登校し、指導を受けます。

(2) 授業単位の取得形態による分類

- 学年制…学年ごとに学習する教科科目が定められています。【全日制は3年、定時制は4年(一部は3年)】
- 単位制…学年の区別なく、3年間(4年間)の間に定められた単位数を取得すれば卒業が認められます。

(3) 授業内容による学科の分類 (令和6年度入試を参考)

- 普通科 …多数
- 普通科(コース制) …小平(外国語)、片倉(造形美術)など
- 総合学科 …東久留米総合、つばさ総合、杉並総合、青梅総合、若葉総合ほか5校
→普通科目から専門科目まで、幅広く学べる。
- 農業に関する学科 …農業、瑞穂農芸、農芸など
- 工業に関する学科 …工芸、多摩工科、田無工科、府中工科など
- デュアルシステム科 …六郷工科、多摩工科など
- 科学技術科 …科学技術、多摩科学技術
- 商業に関する学科 …第五商業、第四商業、五日市など
- ビジネスコミュニケーション科 …千早、大田桜台
- 情報に関する学科 …新宿山吹
- 産業科 …橘、八王子桑志
- 水産に関する学科 …大島海洋国際
- 家庭に関する学科 …農業、瑞穂農芸、赤羽北桜、忍岡
- 福祉に関する学科 …野津田、赤羽北桜(介護福祉)
- 理数に関する学科 …立川、科学技術
- 芸術に関する学科 …総合芸術(美術科・舞台表現科・音楽科)
- 体育に関する学科 …駒場、野津田
- 国際に関する学科 …国際
- 併合科(島しょ部) …【全日制】大島(農林・家政)、三宅(農業・家政)、八丈(園芸・家政)
【定時制】瑞穂農芸(普通・農業)

(4)特色ある都立高校について

◎大学進学に力を入れている高校

【進学指導重点校】

日比谷・西・国立・八王子東・戸山・青山・立川

【進学指導特別推進校】

小山台・駒場・新宿・町田・国分寺・国際・小松川

【進学指導推進校】

三田・豊多摩・竹早・北園・墨田川・城東・武蔵野北・小金井北・江北・江戸川・日野台・調布北・多摩科学技術
上野・昭和

◎ライフスタイルに合わせて学習形態を選択できる高校

【昼夜間定時制高校】

新宿山吹・砂川・一橋・浅草・荻窪・八王子拓真

(新宿山吹、砂川及び一橋では、併設している通信制課程との併修もできる)・

◎学力検査を行わない高校

【チャレンジスクール】

主に小・中学校で不登校の経験があったり、高校で中途退学を経験したりして、これまでの能力や適性を十分に生かしきれなかった生徒が、自分の目標を見つけ、それに向かってチャレンジする高校。昼夜間の定時制・総合学科・単位制の高校で、ライフスタイルや学習ペースに合わせて各時間帯(午前・午後・夜間の三部)を選んで入学できる。

・桐ヶ丘・世田谷泉・大江戸・六本木・稔ヶ丘・小台橋・八王子拓真(チャレンジ枠)

【エンカレッジスクール】

中学校で十分能力を発揮できなかった生徒のやる気を育て、頑張りを励まし、応援しながら、勉強や学校行事・部活動などを通して学校生活を充実させる全日制の高校。二人担任制を導入し、少人数制・習熟度別授業によるきめ細かくわかる授業を実施。

・蒲田・足立東・秋留台・東村山・練馬工科・中野工科

【通信制課程】

原則自宅等で学習し、レポート等を提出したり、定められた日に登校する。

・一橋、新宿山吹、砂川

4 都立高校の入試の仕組み

都立高校の入試には、推薦に基づく入試(推薦入試)と学力検査に基づく入試(第一次募集・第二次募集・分割募集)があります。なお、学力検査によらない入試を行う学校もあります。

【令和7年度(2025年度入試)の都立高校等入学者選抜日程資料】

推薦に基づく選抜(入学願書は郵送により受付)

願書受付	令和7年1月9日(木)～16日(木)
実施日	令和7年1月26日(日)・27日(月)
合格発表日	令和7年1月31日(金)

学力検査に基づく選抜

	第一次募集及び分割前期募集 (入学願書は、郵送により受付)	分割後期募集及び第二次募集 (入学願書は、窓口へ持参)
願書受付	令和7年1月30日(木)～2月5日(水)	令和7年3月6日(木)
実施日	令和7年2月21日(金)	令和7年3月11日(火)
合格発表日	令和7年3月3日(月)	令和7年3月14日(金)

◆4-1 推薦に基づく入試(推薦入試)について *進学希望の意志の強さが必要です!*

I 推薦に基づく入試は、志願する都立高校を第一希望とする生徒を対象とします。次の2種類があります。

(1)一般推薦 中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。

【都立推薦出願までの校内手続き】

- ① 担任へ推薦希望を申し出る
- ② 「推薦受験願い」の提出

- ③ 校内で審査
- ④ 所属中学校長の承認

⑤ 出願準備

(2)文化・スポーツ等特別推薦

生徒の個性を伸長すると共に、高等学校等の個性化・特色化を図ることを目的としています。特別推薦に応募する意志があり、中学校長から志願が認められた生徒が応募できます。(検査日当日に実技検査等を行います。)

★特別推薦には一般の推薦とあわせて出願することができます。

①推薦入試募集枠:推薦に基づく選抜は普通科20%、専門学科は学校によって20～40%が基本となっています。

②入試・総合成績に占める調査書点の上限が50%以内になりました。

- ・小論文又は作文、実技検査、その他学校の設定する検査の中から一つ以上をすべての学校で実施します。
- ・面接に加え、集団討論を行う学校もあります。

※感染症対策のため中止していた集団討論は、令和6年度(2024年度入試)より必要と判断した学校に限り、再開しました。(昨年度は普通科10校、専門学科3校で実施)

※学校によっては面接時にパーソナルプレゼンテーションを行うところもあります。

(3)選抜方法

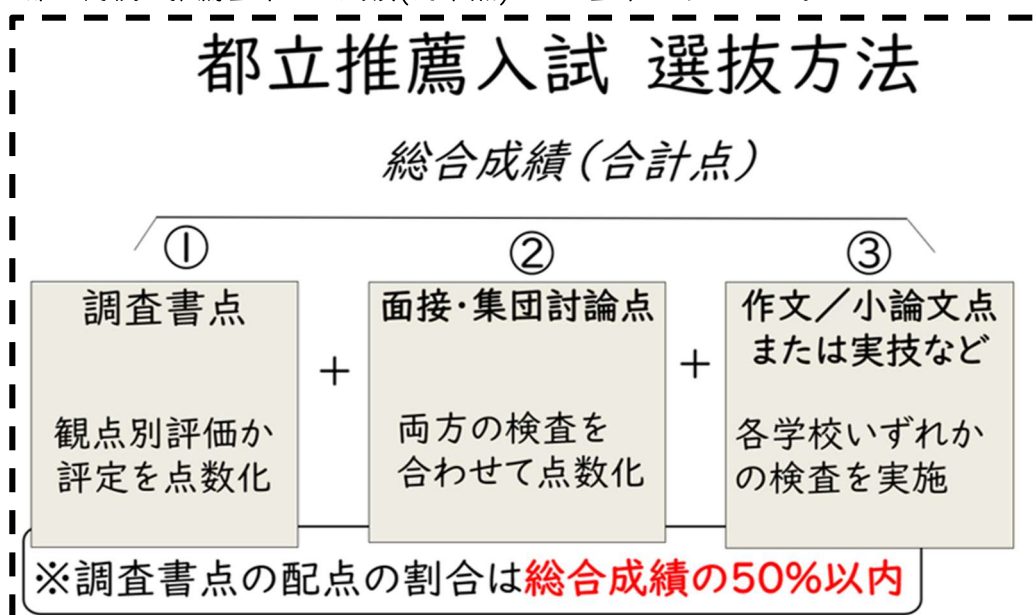
選抜は、調査書、集団討論及び面接、作文又は小論文、実技検査等の検査結果をそれぞれ点数化して、その総合成績の上位から順に合格としていきます。また、都立高校長が必要とする資料(自己 PR カード等)を提出し、面接の際の資料とします。

調査書は点数化されますが、この方法として、「内申(素内申)」を点数化する方法と、「観点別評価」を点数化する方法の二通りがあり、高等学校が選択します。多くの高校が「内申(素内申)」を点数化する方法を取っています。調査書点の点数化の方法は学校ごとに異なります。この点数化の方法については、後日、東京都教育委員会から配布される冊子(10月以降)に掲載される予定です。

【本校における推薦基準】

本校の推薦基準を本冊子の10ページに記載しております。よく目を通して、日頃の学校生活を見直してみましょう。

*都立高校の推薦基準には成績(内申点)による基準はありません。



◆4-2 学力検査に基づく入試・第一次募集・分割前期募集(一般入試)について

(1)学力検査

学力検査は、原則として全ての高校で国語・数学・英語・社会・理科の5教科で実施します。各教科とも50分100点満点ですが、特別な教育課程を実施している学校については傾斜配点を例外的に実施しています。

●解答は全校マークシート方式

自校作成問題実施校については国語、数学、英語が記述式で、理科、社会が全校共通のマークシート方式。

(2)選抜方法

選考は、調査書・学力検査の成績を総合した得点(総合得点)に面接や作文、小論文、実技検査等を実施したときには、その結果を加えた総合成績によって行います。入学許可予定者は、総合成績の高い順に決定します。

総合得点において、学力検査の得点と調査書点は、主に次ページ【図1】の比率で、合計1000点満点になるように計算されます。

●学力検査と調査書の比重

7:3(学力検査700点、調査書300点)

●調査書点の計算方法 「調査書点は、入試教科以外の教科に一定の重み付けをして「換算内申」を出して、それを比重に合わせて計算します。実技教科の換算内申が2倍になります。

換算内申は入試を実施する教科によって、次ページ【図2】の式で計算します。

学力検査の得点と調査書点の比率等

図1

【全日制課程】

募集	学力検査の教科数	学力検査の得点と調査書点の比率
第一次募集・分割前期募集	5教科 (国・数・英・社・理)	7:3
分割後期募集・第二次募集	3教科 (国・数・英)	6:4

※ 学校によっては、学力検査に加え、面接、小論文又は作文、実技検査を実施する場合があります。

※ 「体育科」「芸術科」の学校は、3教科(国・数・英)、6:4になります。実技検査を行います。

都立一般入試 総合成績の計算式

★都立一般

学力検査: 700点満点 (100点×5教科×1.4)

$$\frac{380}{500} \times 1.4 = \frac{532}{500} \text{ 点 (小数点切り捨て)}$$

国語	数学	理科	社会	英語	合計
72	76	68	84	80	380 / 500

当日合格に必要な点数を計算してみよう!

調査書点: 300点満点
(国数英理社: 合計 20 + 音美体技家: 合計 15 × 2 = 30 ⇒ 換算内申 50)

$$(\text{換算内申 } 50 \div 65) \times 300 = \frac{230}{65} \text{ 点 (小数点切り捨て)}$$

国語	数学	理科	社会	英語	音楽	美術	体育	技家	合計
4	4	4	5	3	4	4	3	4	35 / 65

合計×1倍		合計×2倍	
学力検査★ 700点満点	調査書点● 300点満点	合計 1000点	
532	232	764	+ スピーキングテスト(ESAT-J)から20点分

図2

☆学力検査によらない入試

- エンカレッジスクールでは、学力検査を行わず、調査書、面接、小論文及び実技検査の結果を総合した成績で選考を行います。
- チャレンジスクールでは、学力検査及び調査書を用いず、志願申告書、面接及び作文により選考を行います。

(4) 昨年度(令和6年度)入試問題の自校作成

以下の高校は、昨年度の入試で自校で作成した問題(国語、数学、英語)と都立高校共通問題(理科、社会)で学力検査を実施しました。

- 普通科 … 日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立、新宿、墨田川、国分寺
- 創造理数科 … 立川
- 国際科 … 国際(英語のみ自校作成問題)

◆4-3 学力検査に基づく入試・第二次募集・分割後期募集について

第二次募集は、第一次募集で入学手続き数が募集人員に達しない場合に行われます。第一次募集で欠員が生じなければ第二次募集は行いません。一方、分割募集はあらかじめ募集人員を前期と後期の2回に分けて入試を行うので、前期の入試状況に関わりなく後期募集を行います。

(前期で欠員がでたときは、後期募集の定員に上乘せされます)。

入試教科は原則として国語・数学・英語の3教科です。分割募集実施校はこれに面接が加わります。第二次募集実施校では面接の有無は各高校が決めます。作文や実技検査を行う学校があるのは第一次募集同様です。

※都立高校等の詳しい選抜要項に関しては9月以降に発表になります。詳細は第2回進路説明会(10月予定)で、お話しします。

5 私立高校について

(1) 入試日程

私立高等学校の入試は、推薦入試・一般入試があります。

推薦・一般共に、それぞれ都立高校の推薦・一般よりも早く行われます。多くの高校で、推薦入試は1月22日から、また一般入試は2月10日から始まります。なかには、一般入試を、日程を分けて2回以上実施する高校もあります。

私立高校	12/15～	1/22～	2/10～	
	★入試相談	推薦入試 ⇒ 合格発表	一般入試 ⇒ 合格発表	
都立高校		1/26・27	2/2	2/21
		推薦入試 ⇒	合格発表	一般入試 ⇒
				合格発表

※私立入試の日程に関しては、必ず学校説明会や募集要項でご確認ください。

埼玉の私立高校では、1月22日から一般入試が始まります。(他県入試で上記日程より早い地域もあります)

(2) 入試の形態

一般的な私立高校の入試形態について表にまとめました。なお、これらの形態は高校によって名称が異なる場合や、このような形態をとらない場合もあります。必ず学校説明会や募集要項でご確認ください。

	種別	条件	★入試相談	検査
推薦入試	単願推薦	<ul style="list-style-type: none"> ・第一志望であること ・所属中学校長の推薦があること ・受験校が示す基準に該当していること ※内申成績や出欠席状況などに基準がある	あり	面接や作文など
一般入試	単願 (第一志望優遇)	<ul style="list-style-type: none"> ・第一志望であること ・受験校が示す基準に該当していること ※内申成績や出欠席状況などに基準がある場合がある	あり	学力試験 (優遇措置あり) 面接など
	併願 (併願優遇)	<ul style="list-style-type: none"> ・他の高校が第一志望で、その高校が不合格だった場合、入学を約束すること (第一志望校が公立のみ可の学校もあれば、公立私立とも可の学校もある) ・受験校が示す基準に該当していること 	あり	学力試験 (優遇措置あり) 面接など
	一般受験	基準等の条件なし	なし	学力試験

★入試相談

入試相談は、推薦、第一志望優遇、併願優遇受験での入試を希望する生徒を対象として、中学校の教員と高校の教員があらかじめ基準等に関する確認をするためのものです。事前に入試相談をするにあたっては、学校長の承認の下で書類を作成します。そのため、中学校側に各種希望届を提出する必要があります。また、入試相談は12月15日から実施する取り決めになっており、期間は高校ごとに設けられています。

(3) 入試概要

推薦入試

① 推薦基準

まず、中学校長が推薦を認めることが第一条件となり、このほかに高校の示す推薦基準に該当する場合に出願が認められます。推薦基準は高校ごとに異なりますが、多くの高校で「内申成績(素内申の合計)」と「出欠席状況」で示され、これに該当しなければ出願が認められないことがほとんどです。

★推薦基準例 ※3科：国数英 5科：国社数理英 9科：すべての教科

「9科が32以上」「3科が11以上かつ5科が20以上」

「3科が11以上かつ5科が16かつ9科が27以上」「3科が14以上または5科が22以上」

※上記の基準に加え、「評定に1がないこと」などの条件がつく場合もあります。英検・漢検・数検等の資格を有する場合、内申点に加点する高校もあります。「出欠席状況」は、欠席日数や遅刻・早退について3年間の状況を見る高校もあれば、3年生での状況を見る高校もあります。各高校の募集要項でご確認下さい。

② 試験内容

主に面接と作文が中心ですが、学力試験を実施する高校もあります。

③ 出願までの流れ

- ① 担任へ希望を申し出る
- ② 「推薦受験願」の提出
- ③ 校内で審査
- ④ 所属中学校長の承認
- ⑤ 入試相談
- ⑥ 出願

※推薦入試には所属中学校長の推薦が必要です。

本校推薦基準については次ページをご参照下さい。

※推薦入試は、合格後に必ず入学することが条件です。

※都立・私立の両方の推薦入試制度の利用はできません。

一般入試

【第一志望優遇】

受験する高校を第一志望とすることで、一般入試において優遇措置が講じられる制度です。

出願基準や入試相談の有無は、学校ごとに異なります。学力試験の得点をもとに選抜する高校が多いですが、面接や作文、実技を行う高校もあります。

【併願優遇】

志望順の上位高校が不合格の場合に入学することを条件に、一般入試において優遇措置が講じられる制度です。

(1) 出願基準

推薦受験と同様に出願基準が示されます。通常は推薦の基準よりも高めに設定されています。

(2) 試験内容

学力試験の得点をもとに選抜する高校が多いですが、面接や作文、実技を行う高校もあります。

【一般受験】

出願基準や入試相談はありません。学力試験の得点等をもとに選抜します。

6 本校の推薦基準

上級学校の推薦受験における、本校の推薦基準は以下の通りです。

小金井市立小金井第二中学校

校長 清水 裕徑

1 推薦受験にあたって

上級学校の推薦受験においては「学校推薦」という形になっていることが多く、その場合には、所属する学校長の推薦を受け、出願できるようになっています。学校長の推薦を受けるにあたっては、中学校内外での生活態度や中学校での学業成績、志願理由などを総合的に判断して、推薦生徒としてふさわしいということが認められなければなりません。

2 本校の推薦基準

- ①推薦を希望する学校を志願する理由や、入学後の目標が明確であること。
- ②「第一志望」で合格した場合は、その学校に必ず入学すること。
- ③基本的な生活習慣が確立し、学校のルールがきちんと守られていること。
- ④授業に真剣に取り組み、学力の向上に励んでいること。
- ⑤上級学校(私立)が基準としている評定や欠席日数の条件を満たしていること。
- ⑥上級学校の求めている生徒像に見合っていること。

※推薦願の提出を受け、学年及び校内推薦委員会で基準を満たしているか審議したうえで、最終的に学校長が判断する。

3 その他の留意点

上記の推薦基準はすべての学校推薦に適用されます。

※私立高校におけるスポーツ推薦等にも、上記の推薦基準が適用されます。

7 進路決定までの流れ（令和年6月13日現在）

(1) 主な日程

月	主な学校行事 ※()内は日付	進路関係の予定	
		校内	その他
6月	運動会(1) 期末考査(26~28)	進路説明会①(13)	
7月	修学旅行保護者説明会(5) 終業式(19)	進路希望調査① 復習確認テスト①(2) 三者面談①(22~26)	・高校見学・説明会・体験授業等
8月	始業式(27)	復習確認テスト②(29)	・ESAT-J 受験申込 (7月上旬~9月中旬)
9月	修学旅行(1~3) 修学旅行振替休日(4) 学校公開(14) 中間考査(26, 27)		
10月	土曜授業(5) 音楽祭(8) 振替休日(9) 70周年記念式典(25)	復習確認テスト③(11) 進路説明会②(18) 進路希望調査② 三者面談②(28~31)	
11月	期末考査(11~13)	三者面談②(1, 5) 進路希望調査③ 三者面談③(29)	・ESAT-J 受験票配布申込(11月) ・ESAT-J(11/24)
12月	終業式(25)	三者面談③(2~6, 9) ・調査書作成願い提出 ・推薦願・併願願等提出	・私立入試相談(15~)
1月	始業式(8) 道徳授業地区公開講座(25) 教科展示始(25)	・自己PRカード清書提出 (都立推薦受検者のみ) ・調査書記載事項通知書配布 ・調査書配布(私立受験者)	・私立推薦 出願・選考・発表 ・都立推薦 出願・入試 ・私立一般 出願 ・国立/国立高専 出願
2月	学年末考査(25~27)		・都立一般 出願(1/30~2/5) ・私立一般 選考・発表 ・国立/国立高専 選考 ・都立一般 入試(25)
3月	保護者会(14) 卒業式(19)		・都立一般 発表(3) ・都立二次・定時制 出願・選考・発表

※あくまでも現時点での予定です。また私立・国立・国立高専の入試日程等は学校によって異なります。

都立入試関係の日程についてもまだ確定ではないため、第2回進路説明会にて詳細をお伝えします。

※今年度、本校では、3回の復習確認テスト(5教科・50分のテストを1日で実施)を上記のスケジュールで行います。このテストは入試本番に向けての練習であり、その結果は進路相談の参考資料にしていく予定です。

(2) 三者面談(全3回)の内容について

三者面談①(7月22日~26日)

- ・第1回進路希望調査の内容をもとに、面談時点での希望進路(概要)の確認
- ・1学期の振り返り
- ・進路や学校生活についての相談
- ・現在の学習状況、夏休み、2学期以降の過ごし方の確認

【留意点】

- ・夏休み中の高校見学・体験授業等において、人数制限があり思うように見学ができない場合もあるようです。ご家庭でスケジュール等を話し合い、早めに予約をしてください。興味のある学校において、まずはホームページを確認してください。受験生にとって必要な情報を掲載している学校が多々あります。
- ・1、2年生の復習は1学期中、遅くとも夏休み中までには終わらせることが望ましいです。

三者面談②(10月28日~11月5日)

- ・第2回進路希望調査の内容、1学期の成績をもとに面談時点での進路希望を確認
 - ・成績が変動する可能性をふまえた、それぞれの場合の志望校の順位等の確認
 - ・私立高校を受験予定のご家庭においては、成績が上がった場合、下がった場合、変わらなかった場合それぞれにおける受験方法の確認
- (例)現時点の成績なら「★高校」、+1だった場合は「●高校」、-1だった場合は「■高校」を併願受験する等

【留意点】

第2回と第3回の三者面談の間は3週間ほどです。またその間には期末考査やESAT-J、ご家庭によっては外部の模試や検定の受験等もあり、想像以上に時間はありません。受験の可能性のある私立高校においてはできるかぎり第2回の三者面談より前に学校見学をお済ませください。また学校によっては併願、推薦受験に際し、全体の説明会参加だけでなく事前の個別相談が必要である場合もあります。詳細は各校の説明会等でご確認ください。

三者面談③(11月29日~12月9日)

- ・第3回進路希望調査(最終)の内容をもとに、受験方法等の確認
 - ・都立推薦願、私立推薦願、併願優遇願、第一志望優遇願等の必要書類の配布
- ※面談後(原則翌日)には書類を提出して頂きます。書類提出後の受験方法の変更はできません。

【留意点】

- ・都立高校の一般入試、推薦入試の合格の可能性について、話題にすることはあっても、合格可否を明言することはありません。(明確な数値の基準は存在しないため)
 - ・都立入試の最終的な志望校、受験方法については成績・復習確認テスト、校外での模試の結果等をふまえてご家庭で判断していただくものとなります。
 - ・第3回の面談で私立の推薦受験、併願受験について確定させる必要があります。
(入試相談が12月15日であるため)
 - ・都立高校一般受検を第一希望とする場合、受検校は確定させなくても構いません。ただし、受検する可能性のある都立高校においては事前にお伝え頂く必要があります。
(成績一覧表を出願前に本校より送付する必要があるため)
- ※書類送付の関係で1月中旬~下旬ごろには確定して頂く必要があります。

8 「授業料実質無償化」について

※申請は高等学校入学許可後です。

今年度より、生徒と保護者が都内に在住している場合、保護者の所得にかかわらず、高等学校授業料の負担が最大で484,000円軽減されます。なお、進学先が国公立なのか私立なのかによって、申請方法が異なります。詳しくは、入学許可後に高等学校から案内があります。

9 主な奨学金について

※奨学金を希望する場合は、学年教員まで申し出てください。

○「東京都育英資金」

対象：来年度、高等学校・専修学校高等課程への進学を希望している中学3年生

校内申込締切：8月30日 申込書類が学校にありますので、希望者は申し出てください。

※この予約募集は、勉学意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な方を、「東京都育英資金奨学生」の採用候補者として、選考のうえあらかじめ登録するものです。勉学意欲のある生徒・学生に、修学上必要な学資金の一部(奨学金)を生徒本人に直接お貸しする制度です。借りた本人は、貸付終了後に必ず返還しなければなりません。

詳しくは、東京都私学財団ホームページでご確認ください。

○「あしなが育英会」(病気・災害・自死遺児、後遺障害で働けない家庭の生徒)

対象：来年度、高等学校・高等専門学校への進学を希望している者

募集期間：2025年度奨学生予約募集(令和7年度高校1年生)は9月1日～12月15日に実施予定です。

8月末ごろ、申請書類が中学校に届く予定です。

※平成26年4月から、高等学校への学費の全額または一部について、市町村税所得割額に応じて「就学支援金」が支給されています。「就学支援金」を受け取るには、課税証明書と申請書をご提出いただくことが必要になります。詳しくは、東京都教育委員会ホームページでご確認ください。

○「受験生チャレンジ支援貸付事業」

塾費用や受験料を無利子で貸与される奨学金です。必要な場合は小金井市社会福祉協議会窓口にご相談ください。

